


[行政情報](#)
[くらしのガイド](#)
[福祉と健康](#)
[手続き](#)
[教育委員会](#)
[トップページ](#) > ひので映画大使最新版



## ひので映画大使最新版

### 第54回映画大使「太秦ライムライト」

期 日 平成26年11月8日(土) ※西多摩地区初上映！

場 所 イオンシネマ日の出

#### 【作品紹介】

日本が誇る時代劇。チャンバラの黄金期を支えてきた京都の太秦を舞台に、「斬られ役」一筋の年老いた俳優と、彼が会った新人女優との絆、チャンバラを支え、愛する人達の姿を描きます。

「斬られ役」として多くのチャンバラ時代劇に出演し、その役に徹してきた男・香美山清一(福本清三)。時代と共に時代劇が消えていき、次第に出番が少なくなる中、新人女優のさつき(山本千尋)と出会い、殺陣の師匠となり彼女を指導していく。その後さつきはチャンス掴みスター女優となっていくが・・・。

「ラストサムライ」にも出演した「5万回斬られた男」福本清三さんが映画初出演を務め、今回は「脇役」に松方弘樹さん、小林念持さんらが回ります。



(C) ELEVEN ARTS / Tottemo Benri Theatre Company

### 映画大使の「感動と感想」をお伝えします。

このコーナーは、映画を見た感想や感動を、ストーリーは伏せて「みなさん」に紹介するコーナーです。

#### ▶ 映画大使の「第一声！」

- ☆ 「斬られ役」にスポットを当てた斬新作！
- ☆ 今回が初主演の福本さんは渋くて、カッコイイ！
- ☆ 一生懸命の大切さを改めて知りました。



今回参加された、映画大使の皆さんです！

#### ▶ 映画大使の「映画のツボ！」

##### ■Aさん

主役(福本清三さん)のセリフがあまりなかった分、表情で補っている感じがして、芝居が上手いというのは、こういう事かと思いました。年齢と共に若い役者に役を取られ、引退する訳ですが、ラストは映画ならではのですね。

表情が印象に残る作品でした。

##### ■Bさん

時代劇が少なくなってしまった今より、もう少し前に上映していたら、観る方の見方も少し違っていたかもしれませんね。昔の映画館は3本立てとかでもやっていました。時代の流れですね。

##### ■Cさん

時代劇などでは、普通主人公(斬る方)に目がいくのですが、「斬られ役」に視点を当てたこの作品は新鮮でした。立ち回りがすごく格好よかったですね。「ラストサムライ」でも斬られていたそうなので、これからは「斬られ役」を主体とする観方もしていきたいと思います。

#### ■Dさん

脇役の「斬られ役」にスポットを当てたこの作品は、「こういう人がいる」という意味では、記録(ドキュメント)的な感じもしましたし、新しい視点で見る事が出来ました。

主演の福本さんはキリッとしていて姿勢がよく、年齢を感じさせない動きでしたね。こういう方達が時代劇を支えてきたのですね。いい脇役がいないと主演が引き立ちませんからね。

#### ■Eさん

「斬られ役」という役に関してはあまり気にした事はないですが、こんなに真剣に立ち回るからこそ、作品に迫力と緊張感が出るのだなと思いました。一生懸命やってきた人が時代の波に吞まれ、物事が変わってしまったても、その人達の想いや気持ちは次の世代に伝えて欲しいし、また受け継いでいって欲しいと思います。

#### ■Fさん

正統派の殺陣でやるのか、斬新な形でやるのか…。時代が新しいものに移っていく陰では、栄枯盛衰に巻き込まれていく人達がいて、報われず終わってしまう事が多い中、それに待ったをかけるような作品でしたね。一生懸命やった人を見直そうと言う意味ですよ。

どんな職業でも一番いい時があって、それが移り変わるときに上手に乗れる人もいれば、そうでない人もいます。でもこの作品のキャッチコピーは「誰かが見ていてくれる」。それが言いたかったのですね。

### ▶ 作品の内容(印象に残ったシーンなど)

- ・ 小さい時チャンバラをしたことがないので、凄く新鮮でした(女性の方の意見です)。
- ・ タイトルにもありますが、チャップリンの「ライムライト」を思わせる作風ですよ。
- ・ 福本さんはセリフが少なかったですが、一言一言に重みがありましたね。
- ・ CGにはない、人間の立ち回りの迫力は良いですね。迫力がありました！
- ・ もっと斬られ方のバリエーションを見せて欲しかった(笑)
- ・ ただ5万回斬られただけでなく、その姿に主人公の人生を感じました。
- ・ エンドクレジットで、キャストとスタッフに英語表記が同時に流れましたが、海外でも上映するのでしょうか(カナダでの映画祭で作品賞や主演男優賞を獲得されたそうです。また、アメリカで上映するそうです)。外国の方はチャンバラや忍者が好きですものね。
- ・ ヒロインの山本千尋さんも素敵でした。

### ▶ まとめ

時代劇では一瞬で画面から消えてしまう存在の「斬られ役」。しかし、彼らがいなければ作品は成り立ちません。主演(斬る方)を引き立てるためにはまさに「名演技」が必要となります。スポットライトが当たる事はありませんが、皆「プライド」を持って演じているのを感じました。どんな時代でも、昔でも今でも、一生懸命やった事はいつか報われる、そう「どこかで誰かが見ていてくれる」のでしょうか。そう信じたいです。

西多摩地区では初上映となりましたこの作品。イオンシネマ日の出では11月21日(金)まで期間限定での上映です。是非劇場の大スクリーンをご覧ください！

▶ [関連ページ: これまでのひので映画大使](#)

▶ [関連ページ: ひので映画大使のトップに戻る](#)

問合わせ先: 教育委員会文化スポーツ課社会教育係  
電話042-597-0511(内線541)

[◀ 前のページへ戻る](#) | [ページトップへ](#) ▶

〒190-0192 東京都西多摩郡日の出町平井2780番地 電話 042-597-0511(代表)  
Copyright © 2011 Hinode Town All Rights Reserved.

[サイトマップ](#) | [このサイトについて](#)